

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自ら考え行動し、その行動への責任と豊かな心をもつ人材の育成をめざし、確かな学力の向上と体験的な学習の充実に取り組んできた。また、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組んできた。

今後も引き続き、学校全体で、「確かな学力育成推進校」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

【寒川高校が育みたい生徒像】

○自立した社会人として、仲間と協働しながら課題解決に取り組み、社会人基礎力を基盤として、地域社会に貢献する人材。

【重点目標】

- 基礎的な知識・技能を身に付け、学ぶ意欲を高め、思考力・判断力・表現力を育てる。
- 基本的生活習慣の確立と規範意識を醸成し、地域社会の成員として活躍する人材を育てる。
- 豊かな人間性と社会性の育成及び自己有用感を醸成し、自分と他者を大切にする人材を育てる。
- 同じ目標に向かって力を合わせ、主体的に協力できる人材を育てる。
- 地域や家庭と連携し、生徒に寄り添い、安全・安心な学校づくりを推進する。

3 計画策定時点での課題

○生徒指導と学習指導、進路指導を一体化した指導体制のより一層の強化と生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた個別学習支援の体制を整備する必要がある。

○生徒の主体的に学習する意欲の向上と基礎学力の定着に向け、ICT等を活用した組織的な授業改善が必要である。

○基本的生活習慣や規範意識が身につけていない生徒一人ひとりに応じた、効果的な指導や支援体制の整備が必要である。

○主に学校行事を基軸とした生徒会活動において、生徒が積極的に参加し、共通の目標を目指して仲間と協働する機会を増やしていく必要がある。また、主体的な活動が期待される部活動の加入率は文化部を中心に上昇傾向であるが、1年生の加入率は29.5%に留まっている。

○就職希望の生徒が半数近くおり、求人数も3,500件を超えるが、個別の指導・支援に十分手が回らない。また、卒業時の進路未決定率は減少しているが10%を超えているので改善が必要である。

○大規模地震や風水害への防災対策等、地域との連携・協働を推進するとともに、寒川町や近隣地域、小中学校との交流を一層大切にしていく。

○令和6年度以降に北棟校舎と体育館棟の老朽化対策工事に向けて、学習活動に支障がないように工事計画を策定する。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の喚起を基軸とした教科横断的なカリキュラム・マネジメントに取組み、生きて働く知識・技能の習得及び学びに向かう力、思考力・判断力・表現力を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間を学習意欲の喚起となる教科の基軸として、各科目において関連性を図りながら主体的で対話的な深い学びを目指す。 ・授業研究や研修を通じて課題や解決策の共有を図り、学校として優先する力の育成に重点を置きながら授業改善を推進する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立させ、規範意識を醸成するとともに、安心して学校生活を送れるように生徒の心のサポートを行う。 ・生徒が自ら考え行動する活動を通じて、責任感や連帯感の醸成と達成感が得られるよう生徒会活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒支援の指針」について、毎年、全教職員で共通認識を図り、積極的に生徒と関わる粘り強い指導を組織的に行う。 ・SCやSSWと密に連携し、課題を抱える生徒を支援する教育相談体制を充実させる。 ・生徒会行事の充実と部活動への加入率を高め、生徒が自らの役割を自主的に仲間と協力しながら果たし、達成感を持たせるよう指導する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的・職業的自立のために、生徒に自己の在り方生き方を考えさせ、望ましい勤労観や職業観を基盤として主体的に進路を選択する能力を育成し、生徒一人ひとりの進路実現につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描けるよう、計画的、組織的なキャリア教育を充実・推進するとともに、学校外での就業体験活動等の機会を設ける。 ・生徒一人ひとりの進路希望や能力・適性等を正確に把握し、きめ細やかな進路指導を実践する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・寒川町唯一の高等学校として、寒川町や近隣地域、小中学校の期待に応え、地域に親しまれ、地域とともにある学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育内容や特色、魅力等を中学生や保護者、地域の方にHP等を活用して適切かつ効果的に広報する。 ・寒川町や地域のイベントへの参加や近隣の小中学校との交流を行う。また、広域避難場所として、地域と協働して防災対策に取り組む。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事故・不祥事防止を徹底し、地域から信頼される学校づくりに努め、持続可能な学校運営と生徒に寄り添った教育を継続するための「働き方改革」を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風通しのよい職場環境づくりに取り組み、事故・不祥事をゼロにする。 ・学校の教育力を高める業務運営を継続させる組織運営と、時間外在校勤務実態を確認し、勤務時間を縮減する。また、長期休業中を含めた計画的な休暇取得を促進する。